

## 第11回沖縄県教育委員会会議（定例会）

1 日時        平成22年08月18日     15時00分～15時30分

2 場所        教育庁第一会議室

3 出席者

委員	比嘉 委員 (委員長)		(欠席委員)
	鎌田 委員		
	安次嶺 委員		
中野 委員			
新垣 委員			
金武 委員 (教育長)			
教育 庁	統括監等	教育指導統括監、参事	
	課長及び 班・長等	総務課長 財務課長 施設課長 福利課長、 県立学校教育課長 義務教育課副参事 保健体育課長 生涯学習振興課長 文化課長 全国高校総体推進課長	
	職務のため 出席した者	(事務局) 総務課総務班長、総務課総務班主査	

4 傍聴した者

記者2人 / その他0人

平成22年第11回県教育委員会会議（定例会）

（開会15:00）

委員長	ただ今から平成22年第11回県教育委員会会議・定例会を開催します。 はじめに会期の決定を行います。本日1日を予定しておりますが、よろしいでしょうか。
各委員	はい。
委員長	このとおり決定します。 今回の会議録署名人は鎌田委員にお願いします。
鎌田委員	はい。承知しました。
委員長	次に教育長報告をお願いします。
教育長	（教育長報告 ・平成22年度全国高等学校総合体育大会について ・第34回全国高等学校総合文化祭宮崎大会について）
委員長	では、御質疑ございますか。
中野委員	まだ終わっていない水泳を除いて、大変素晴らしい大会で終えたと思う。個人的にハンドボール、バレーボール等を見てきたが、どの会場でも子供達が一役を果たし、笑顔で他県の皆様を迎えていた。あの雰囲気はなんとも言えず感動した。大変お疲れさんと子供達とその指導者の皆さんに言いたい。1つ教えてもらいたいが、全国的に熱中症が話題になっていたが、大会ではどのような状況だったか。
総体課	まだ12競技しか報告が届いておりませんが、先週の段階で33件でした。12競技で約半分の段階ですが、佐賀大会の181件と比べてかなり少ないです。熱中症対策もしましたが、天候が曇りがちだったこともあると思います。発生した場合の対応も、各競技会場に救護所を4～5カ所おき、医師、看護師も配置して、なにかあればすぐに対応できる体制を整えております。
鎌田委員	今大会については、マスコミ、新聞が期待以上にスペースを取って報道してくれた。トップ記事、スポーツ面に限らず連日大きく報道してくれたことが、県民に関心を持たせる大きな役割を果たしたと思う。記事もさることながら、プロのカメラマンによる写真もよかった。マスコミ上げて一体となってこの大会を盛り上げてくれたと感じた。地元紙の両社が取材でいらっしやるので、改めて感謝したい。
全員	（拍手）
安次嶺委員	子供達が頑張ってくれて、誇りに思う。大過なく終わりそうでよかった。熱中症も避けられ、麻疹の報告もない。麻疹防止については、教育長が先頭に立って麻疹の予防接種前倒しを市町村に呼びかけた。そうした地道な努力が、この成功に大きな役割を果たしたと思う。事務局の苦勞に感謝したい。

	<p>新聞では、沖縄の子供達の活躍が国際問題より大きくトップ記事が出てすごいと思ったが、他県の子供の状況が全然見えない。全国紙のスポーツ欄を見て初めて、卓球の石川さんが勝ったのがわかる状態。地方紙ではあるが、全国大会なので、全体のバランスが取れた報道があるとなおよかったと思う。現状が悪いということではなく、もっと全国レベルの人達の活躍も出してもらえればよかったと思った。</p>
教育長	<p>ただ、地方紙がこんなに紙面を割いてくれたのは、これまで例がありません。沖縄の両紙の報道が子供達の活躍を元気づけ、子供達が自分たちの存在感を感じ、取組を伸ばしてくれたことは大いにありがたいと思います。安次嶺委員がおっしゃることもよく分かりますが。たとえば高校総体以外に、宮崎で開催された高校総合文化祭についても、地元紙では一面で報じてくれています。参加した子やその成果について、また記者も同行してずっと取材を続けてくれているのは沖縄ぐらいで、非常にありがたいです。</p>
安次嶺委員	<p>それはそうだが、沖縄では全国紙を読まない人が大部分。そうした中でも全国の状況も見えてほしい。今の時代、沖縄の子供達は全国レベルで頑張っているのだから、沖縄の子だけ毎日一面に出るのではなく、全国の状況も見えるようにしてほしい、とお願いします。</p>
新垣委員	<p>夏休み期間中で、選手以外のボランティアの子供達も頑張っていた。疲れて朝起きられない子達を、両親が朝早く起こして、学校や会場まで送迎したりしていた。一生に一度の思い出に残るこの大会で、子供達は何かを得たと思う。選手以外の子も、目が輝いて、自分達もこの一員だと自信をもって頑張っていたのがよかった。最後には、選手だけでなく、このボランティアの子供達も「頑張ったね、皆の力で成功したんだよ。」と激励してほしい。</p>
教育長	<p>選手の活躍を取り上げてくれたことも非常に大きかったです。大会前からいろんな場面取材し、選手以外の子供達の顔写真を掲載したりしてくれました。例えば、トイレ掃除を担当した子がその仕事でこの大会に参加できてとても幸せだと語ったこと等を取り上げ、皆が主役という形で引き上げた点で、マスコミには全国一サポートしてもらい、そのおかげで大成功だったと感謝しております。</p> <p>豚を潰して歓迎会をしたり、さとうてんぷらを揚げたりと、地域にもいろんな形で支援していただきました。宮古の特別支援学校ではパーントゥを作ったり、アーチェリー会場では特別支援学校の子供達を放送の進行係にしたり等、心に明るい物が感じられる大会だったと思います。そういう面で、多くの県民にも感謝したいと思います。</p>
鎌田委員	<p>各県開催はこれで最後。担当部署で必要最低の記録は出すと思うが、一人一役運動の状況を、各高校独自に、伏線的なところも丁寧に記録に残すとい</p>

いのではないかと思う。先生方や、それを支えた全職員一人一人のエピソードが各高校単位で残りながら、高校生総ぐるみで支援したということも肉付けとしてわかる記録も、最後だからこそ残しておきたいと思う。

委員長

高校総合文化祭についてもマスコミの皆さんに御礼を申し上げたい。ありがとうございました。事前段階から開催中も各会場をまわり、いろんなエピソードを紹介してくれた。スポーツに比べ文化活動は地味で目立たないが、子供達のことを紹介してくれたおかげで、文化面でも子供達が活躍していることを県民が知ることができ、応援する気持ちが高まっている。本当に感謝いたします。

「国際交流ボランティア部門」では、久米島高校とコザ高校の女生徒が全国の中でも輝く見事な発表をしていた。安次嶺委員がおっしゃるように、沖縄の子供達は全国レベルで活躍しており、世界の藍ちゃんのように世界で活躍する子供達も出ている。自信をもってどんどん活躍できるよう支えていきたい。

今年は沖縄の子供達にスポットがあたった年だった。高校総体では、地域のボランティアをはじめ、大人から子供までたくさんの人達が参加してくれ、特に高校生達は頑張ってくれた。一人一人に役割が与えられ、子供達が心を込めてやったことが形になり、それが評価され喜ばれ、そのことによって子供達が輝いていく。新垣委員がおっしゃるように目がきらきら輝く子供達がどうやって生まれるのか、大きな活躍でなくても、何かに関わってそこにやりがいが見いだせたら子供達は生き生きするということがわかった大会だったと思う。

他には、アジア青年の家という事業が開催されているが、16人の沖縄の高校生がアジア15カ国の中・高校生と3週間にわたって英語で交流し、水環境についてディスカッションしている。総勢80人の中でこの16人の高校生も物怖じせず、英語で堂々と喋り、各国の子供達に引けを取らない意見を述べている。本当に頼もしい。

そして甲子園。今日勝ったらベスト4。全国を沸かせ、沖縄からはチャーター便が連日飛んでいる。子供達の応援には県民が心を一つに連帯している。皆が関心を持ち、一緒になって喜びを味わえることで、また子供達をどんどん成長させることができる、ということを感じさせてくれた夏だったと思う。

ということで、今日は教育長報告のみで議案がないので、日程を終了し、皆で甲子園を応援したいと思います。ありがとうございました。